



希望の塔

平成18年12月22日
芽室町立芽室南小学校
学校だより 第9号
URL <http://www.minami-es.memuro.net/>
発行・題字／竹内光男
編集／栗原賢次

深刻ないじめに発展させないために

芽室南小学校 竹内光男

先日の参観日に4年生が道徳の授業を公開していました。味覚の違いから、人それぞれにもの感じ方や考え方があり、違いがあることに気づかせる内容でした。この授業で自分を見つめ直し、人にはそれぞれに感じ方や考え方に違いがあることを知り、相手の意見や考え方を尊重し理解し合うことが大事であることを学びました。今騒がれているいじめの多くは、偏見による異質なものの排除から起きるもので、子どもたち



の心を育てることが緊急の課題と言えましょう。いじめ問題が大きな社会問題になっている今日、学校からいじめを無くすことが学校経営の命題であり、「豊かな心」を育てることが緊急な課題となっています。

毎日新聞によると、いじめは日本国内だけの問題ではないようです。英国では「いじめ撲滅週間」のキャンペーンや信頼の厚い最上級生を「指導者」に選抜し、教師と共同していじめを阻止しようとしています。効果はあがっておらず、親や教師の目が届きにくいネットでのいじめも急増しているようです。韓国では、ネット普及率が高く、クラス親睦のホームページがいじめに利用されたり、被害者の転校先までネット連絡し、「いじめのラリー」をする例があるそうです。米国では死者13人を出した99年のコロムビア高校（コロラド州）銃乱射事件が記憶に新しいですが、原因は銃を乱射し自殺した生徒への陰湿ないじめがあったとされていますし、いじめが原因と見られる生徒の自殺が相次いでいます。各州では「いじめ防止法」の制定が進んでいるようです。エジプトでも「いじめ」は存在していますが、親に話を持ち込むことはほとんどなく、いじめ側との直接面談で解決を目指し、「イスラムで弱い者いじめはハラーム（禁止）」と、宗教的に説諭するそうです。アフリカ諸国にもいじめはあるようですが、深刻な社会問題にはなっていないようです。学校依存の度合いが少なく、親せきや地域全体で子育てする習慣が残っており、経済的事情などで進級が遅れ、異年齢の子どもによる学級編成が普通だからだそうです。

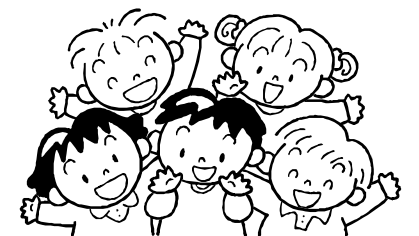
以上のように世界各国の現状を見ますと、いじめ問題は決して我が国の特殊な問題ではなく、世界中に存在し、その対策に各国が苦慮しているようです。先日、教育再生会議がいじめに関する提言を出し、懲戒基準を明確にして毅然とした対応をとるよう求めました。厳罰主義により、いじめを力でねじ伏せようとも見てとれますが、このことは教師の萎縮を呼び、更なる学校の硬直化を呼ぶことにはないかと危惧してなりません。前述のように、いじめは世界的な傾向でもありますから、いじめは無くならず、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」起こりうるものと考え、対処療法を行うと同時にいじめ予防の視点に立った指導を行なう必要があると思います。

そのためには、まず命の大切さを教え、子どもたちの偏見をなくす教育を学校の授業や家庭での団欒の中で行なうことが第一でしょう。次に子どもの心の強さを育てることだと思います。普段から折に触れフェア精神を説き、子ども間のいじめによる差別はアンフェアな行為であり人間として恥ずべき行為であることを説きます。更に、いじめは犯罪であることも理解させます。言葉によるいじめは、名誉毀損罪であり暴行罪であること。ズボン脱しはわいせつ物陳列罪、お金を脅し取ることは恐喝罪であり、いずれも法により罰せられ、子どもだからといって決して許されないことと教えます。同時に、嫌なことは嫌と自分の口でいえるように訓練し、いじめにあったときには、友だちや周りの大人に知らせることが出来る子どもに育てます。このように学校と家庭が連携し、いじめを出さない環境を醸成することが解決の道だと思います。

個性と言いながら、集団の枠の中で考え、みんなで渡ればこわくないといった横並び思想がはびこり、いじめを正さずアンフェアな多数になってしまう情けなさが今のいじめを助長させているようです。しかし、いじめ問題を通して摩擦が起こったときの解決方法や弱者を助け友人と協調することの重要性を考えさせることは無駄なことではないし教育上必要なことです。要は、深刻ないじめにいかに関与させないかが問われているのだと思います。

インターネットの発達した現代では、無責任な誹謗中傷のたぐいのいじめも益々巧妙で陰湿化し、深刻化するものと予想されます。そのためにも、多数こそ正義といった誤った考え方や社会に存在するあらゆる偏見をなくし住み良い社会をつくるのが我々大人の責務と考えます。同時に地域の宝である子どもを地域全体で見守り育てることが必要だと思います。

本校は、日常的に異学年との太い交流があり、更に学級の子ども全員が種々な摩擦を繰り返しながら6年間一緒に苦楽を共にします。全教職員で全児童を育て、保護者や地域の皆様に見守られており、そんなところで深刻ないじめは起き得ないと固く信じているところでもあります。



楽しい冬休みにするために

明日（23日）から冬休みが始まります。25日間のお休みですが、お正月などの行事があって、子どもたちにとってはあっという間に終わってしまう感じがすることでしょう。学校では、それぞれの学年に応じた目標を立てさせ、計画的に生活するよう指導していますが、ご家庭でも次の事柄について話し合ってくださいよう願います。

- 危険な箇所について。
（家の軒下・道路等）
- 不審者や不審電話などに遭遇したときの対応について。
- お年玉などお金の使い方について。
- 外出時の約束について。
（行き先、帰宅時間等の確認）
- 一日のすごし方、冬休みの予定について。
（学習・作品・スケート等）



スケートリンクの活用を！



今年は雪が遅く、学校のグラウンドにもスケートリンク造成に必要な量の雪が積もっていません。積雪待ちの状態ですが、今年度も、PTA施設部をはじめとする保護者の皆様が精力的に作業を進めてくださることになっています。

オープンも年末あるいは年を越してしまうかもしれませんが、スケートリンクが完成しましたら、PTA全戸にFAXでお知らせいたします。

お知らせが届きましたら、休み中のお子さんの体力づくりのためにもスケートに親しませていただきますようお願い申し上げます。

また、リンク維持のため、散水作業の当番にあたった方は、ご協力の程

よろしく願います。



サンタさん(ダンさん)と一緒に...

12月20日に、全校で「クリスマス集会」を行いました。児童会三役による寸劇に始まり、全校ゲーム、プレゼント交換と楽しい時間をすごしました。また、今回は芽室町AETのダンさんをお招きし、「Snowman」の絵本を英語で読み聞かせさせていただきました。子どもたちは、サンタクロースの扮装で登場したダンさんの姿に湧き、ダンさんサンタと一緒にゲームをしたりケーキを食べたりして、集会を楽しんでいました。



読み聞かせをする坂本さん

本校では、毎朝、授業の前に全校で10分間の読書活動を行っていますが、毎週木曜日には、本校のPTA会員でもある坂本さん（健君のお母さん）が、1学年ずつ、本の読み聞かせをしてくださっています。低学年はもちろんのこと、高学年の子どもたちも6週間に1度の読み聞かせをととても楽しみにしています。坂本さんは「これからも良い本を子どもたちに紹介していきたいし、読み聞かせの仲間も募っていきたい」とおっしゃっていました。

研
・
仲
・
身
の
話
題

1月の主な行事

9日（火）20周年編集部会	24日（水）学カテスト クラブ
15日（月）PTAスポーツのつどい	20周年編集部会
PTA役員・教職員新年交流会	25日（木）学カテスト 二計測
16日（火）20周年編集部会	26日（金）午前授業
17日（水）第3学期始業式	27日（土）町民スケート大会
18日（木）冬休み作品展（～25日迄）	30日（火）児童会
20日（土）西部十勝スケート大会	31日（水）AET交流学习 クラブ
23日（火）児童会	芽小との交流学习（6年生）